

# ボナンタゴン

アピカホールから  
あなたに

Vol.80

2016.4月-6月

5/8(日)



村上 成美さん  
(フルート)

5/28(土)



田代 美代子さん

第133回  
しほさくらコンサート  
開館20周年記念事業

「歌がこぼれ日本の地図」  
五月二十八日開催

ふるさと演奏家シリーズ

「村上成美の優美なる世界」

フルートとハーブ

五月八日開催

絵画の世界

うかわ先生の  
おんがく談義

音楽の話・輪・和・Wa

娘がアピカ児童合唱団に入って

■文化事業一覧表(別紙)

西脇市立音楽ホール

Apika  
アピカホール

開館20周年記念事業  
歌がつむぐ日本の地図

田代美代子

「ボナンタゴン!」皆さまこんにちは、5月28日に「アピカホール」に出演させていただく田代美代子です。「♪愛しちゃったのよ」と歌い騒がせてもう50年になります。覚えていてくださいますか?「小川宏ショウ」の司会や舞台、映画にミュージカルなどいろいろさせていただきましたが、その間、病いに倒れ10年近くお休みを余儀なくされたのは辛いことでした。復帰してからは本来のシャンソンや、ポップスなどが中心に歌い続けております。また53歳から始めた、ユネスコ協会連盟の「世界寺子屋運動」という識字教育の支援活動を通して、もう一度「学びなおし」の大切さに目覚め、67歳で一般受験に挑戦し、早稲田の大学院で学び、教育学の研究に打ち込んだことはとても貴重な体験で、その後の歌や講演などの大きな栄養になっております。

少し前に、歌の地図の制作に参加しないかとのお誘いを受け、何と地図の読めない?私が、由緒ある「帝国書院」様の『歌がつむぐ日本の地図』の編集のお手伝いをし、その上、日本を代表する各県の名曲の中から11曲をレコーディングするという、これは本当に楽しい仕事をさせて頂きました。

知っているつもりで知らなかった!とか、え〜っ、勘違いしておぼえていたわ!この歌の誕生にこんな背景があったの〜?また作家の先生方や歌手のエピソードなど、この歌の地図の仕事を通して私は大いに学ぶことが出来ました。

兵庫県はとても沢山の歌が誕生した所ですね〜。俗に流行り歌には・愛・恋・秘密・涙・別れ・未練・思い出などの言葉が入って

いれば、と聞きますが、そこに山があり川が流れ、海があって港、船と情景が揃うともう持って来い!の条件でしょうね。歌の地図の紙面でも、一番多い東京、二番の北海道に続くのは、神奈川県と並ぶ兵庫県で6ページを占めています。ハイカラな港町神戸、おしゃれな芦屋、宝塚、甲子園も、灘のお酒に、白鷺城など揃っていますもの。国民的愛唱歌とされる「赤とんぼ」の作詞家の、三木露風は龍野の方で、揖保川のほとりに、歌碑や、生家も、またまつわるいろんな施設が今も人気を博し、この歌は平成15年の、好きな童謡のアンケートで一位に選ばれました、などこれみんな『歌がつむぐ日本の地図』の受け売りです。是非ご自身でお読みください。

愛読者の方から頂くお便りに、ご家族みなさんと地図を開いて歌っていらっしゃるとか、遠く離れたお祖母さんや親戚の方を思い出してお子さんに、地図を指し、今度のお休みに帰ってみようかなど話が弾んでいると伺うと、とても心が温かくなります。添付のCDの最後に「みどりのふくしま」を入れました。これは、被災地のみなさまへの応援の強い想いで作った歌です。「人は一人じゃないから、晴れる日がまたくる」この歌は今福島やその他の地域でお子さんたちが歌ってくださいます。5月28日のアピカホールでも歌います。西脇の皆さまと心を合わせ同じ想いになれるように。当日の為に兵庫県にまつわる歌を沢山選曲しました。阿久悠さん、菅原洋一さんも地元の方ですよ、お馴染みの歌をシャンソンなどに組み入れて歌わせて頂きます。

お目もじを楽しみに致しております。

# こころに残したい日本の名曲

第1部/唱歌や童謡をはじめ兵庫県にゆかりのある歌をお届けします。

赤とんぼ・花の街・すみれの花咲く頃 ほか

第2部/シャンソンを中心とした名曲をお届けします。

愛の讃歌・愛しちゃったのよ ほか



演奏者

Piano……嶋 きよみ

Bass……山口じゅん

Syn……猪狩 匡雄

音楽監督……山口じゅん

田代美代子

1943年生まれ。

1965年レコードデビュー初年に「愛して愛して愛しちゃったのよ」で日本レコード大賞新人賞を受賞する。

現在もジャズ・シャンソン・カンツォーネ、映画音楽など幅広いジャンルを唄える実力派歌手として精力的に活躍中。

一方、2011年には早稲田大学大学院に入学、2013年に教育学修士号を取得。生涯学習、食育などの講演も積極的に行っている。

5月28日(土)

開館20周年記念事業

第133回しばざくらコンサート

「歌がつむぐ日本の地図」

～田代美代子 こころに残したい日本の名曲～

午後2時開演(午後1時30分開場)

大人 1,000円 中学生以下 500円

※前売券完売の場合、当日券はありません。

※0歳より入場可能(3歳以下ひざ上に限り無料) ※自由席

# 西脇に想いをよせて

フルート 村上成美

この度の演奏会は故郷からのお声掛けで実現の運びとなり、とても光栄に感じています。アピカホールでの演奏は2002年の県教育委員会主催のコンサート以来ですが、私が舞台上に立った全国の会場と比べてトップクラスの音響の素晴らしさが印象的です。西脇高校の先輩でもある吉田先生が館長を務められるアピカホールは私にとって、とても重要な場所です。さらに大学時代から長らく師事する金昌国先生（東京芸術大学名誉教授）は昨年には兵庫県文化賞を受賞されました。金先生は西脇ともゆかりが深く、西脇市民会館でも演奏され、さらには私の同会館でのデビュー・リサイタルには応援に駆けつけてくださいました。このように私にとって、アピカホール、あるいは西脇での演奏は、いつも重要な節目となっています。

私は東京を中心にソロや室内楽の演奏活動を行っていますが、私の原点は西脇にあると常に感じます。重春小学校、南中学校、そして西脇高校を経て、東京芸大に進学した中で、この地で過ごした多感な幼少期や青春期は代えがたい宝となり、音楽家としての原動力です。中でも南中学校の吹奏楽部でのフルートとの出会いは大きな転機でした。管楽器には「ロングトーン」という、音を長く奏で

る練習が不可欠で、日々このトレーニングに懐かしい校舎で打ち込みました。音量や音色、呼吸を安定させて音を出すこの練習で、私がそれまで励んだピアノとは全く違う、音を創り出す喜びを知りました。その時、目に映った西脇の景色は私の原風景です。

私が現在暮らす「丸沼芸術の森」（埼玉県朝霞市）は様々なジャンルのアーティストが制作活動をおこなうアトリエ村です。彼らが交流する様子は芸大時代を思い起させる熱気にあふれています。そして彼らと身近に接する環境は、私の第二の転機とも感じます。カラフルなリズムで音楽的感性を持つ作品も多く、とても良い刺激となっています。そして、その所蔵品に想いを寄せるアルバムも発表して参りました。コレクションが内外で公開される折には演奏もいたします。昨年には茨城県近代美術館での「丸沼芸術の森所蔵 ベン・シャーン展」に講演でお越しくださった横尾忠則先生に「西脇出身の方とお会いできるなんて」と幾度もお言葉をいただき、とても嬉しいひと時でした。また、今回の演奏とともに岡之山美術館での展覧会企画を通じて、重春小学校での恩師で、今は同館の館長・好岡先生と頻繁にお会いできるのも大きな励みです。

5月8日(日) 開館20周年記念事業 西脇市岡之山美術館協賛

ふるさと演奏家シリーズ

## 「村上成美の優美なる世界」 ～フルートとハープ 絵画の世界～

演奏会ではコレクションの一つ、モネ《ルエルの眺め》のタペストリーを背景に、フランス印象派音楽を中心としたプログラムでドビュッシーやラベル、フォーレを演奏します。共演の東海林悦子さんは私が芸大時代からコンビを組む方で、パリで活躍中のハープ奏者です。西脇の皆様への感謝の思いは言葉にはできない程ですが、その想いを込めて演奏に臨みます。音楽と美術の融合を、一人でも多くの方に楽しんでいただければ幸いです。



### \*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

- C. ドビュッシー／美しき夕暮れ
- C. サン＝サーンス／うぐいすとバラ
- G. フォーレ／幻想曲 作品79
- F. J. ナーデルマン & J. L. トゥルー／夜想曲 他

5月8日(日)

開館 20 周年記念事業 西脇市岡之山美術館協賛

ふるさと演奏家シリーズ

## 「村上成美の優美なる世界」 ～フルートとハープ 絵画の世界～

午後 2 時開演（午後 1 時 30 分開場）

大人 2,000円 高校生以下 1,000円

※全席自由席

※前売券完売の場合、当日券はありません。

※3歳以下入場不可



## 音楽の名著紹介シリーズ(第3回)

### 石井 宏『クラシック音楽意外史』(東京書籍)

今回は、前回の許 光俊さんにも劣らず、辛口の批評家として知られる石井 宏さんの著書をご紹介します。

石井さんは1930年生まれ。東京大学文学部の美学科ならびにフランス文学科卒。現役最長老の音楽評論家の一人です。

石井さんについて、まず第一に特筆大書しなければならないのは、文章のうまさ、分りやすさです。世の中、悪文がまかり通っていて、例えば、大学の現代文の入試問題などでさえも、読む人を想定しているとは思えないような独りよがりな文章が氾濫しています。石井さんの爪の垢でも煎じて飲んでほしいものです。

また、石井さんは該博な知識を持ちながら、それを分りやすく面白く伝えるサービス精神にも富んでいます。落語が趣味だそうです、その影響もあるのでしょうか。

この本は、音楽雑誌などに掲載された10編の記事を一冊の本としてまとめた体裁をとっています。そのうち8編は、一般の音楽愛好家や音楽家や音楽教師、また音楽大学生などが主な読者層だと想定される音楽雑誌『音楽の友』に掲載されています。

そのためあって、啓蒙的な記事が多いのですが、初心者向けの文章によく見受けられる内容の薄っぺらで低俗なものとは一線を画していて、正確で豊富な資料を駆使したいへん高度なものに仕上がっています。これだけの文章を書くためには、どれだけの膨大な資料と時間が要求されることか。物書きのは

しくれとして、察するに余りあるものがあり、ただただ敬服するしかありません。

音楽ファンが興味をそそられそうな記事が目白押しですが、まずは、次の3つ、「モーツァルトの謎と意外」、「ベートーヴェンの謎と意外」、「ショパンの謎と意外」などは、どれも食指が動くのではないのでしょうか。

いくつかの項目から、面白そうなところを引用してみましょう。

モーツァルトの身長は?

だれの記録を見ても、モーツァルトはチビだったようであり、特徴ある眼は少し飛び出し気味でバセドー氏病を疑わせるものがある。(中略)しかし、考えてみると天才的な人間にチビが多いのは統計的事実ではなからうか。ナポレオンのチビは有名だが(ヒトラーも)、モーツァルトの周辺で見てもヨーゼフ・ハイドンはチビの上に短足であったし、ベートーヴェンは人込みに入ったら見えなくなってしまうようなチビであった。ワーグナーもマーラーも小さいほうではトップを切っており、音楽家で背が高かったのはバガニーニくらいであろうか。

ベートーヴェンはよき隣人たりうるか

ベートーヴェンの一生は簡単に定義すると、稚気溢れる直情径行ぶりに終始するといつてよいが、特に晩年になるとそれはひどくなった。彼のカレンダーには面白いことが書いてあるが、たとえば1819年の前半では、

- 1月31日 家政婦に(解雇)予告
- 2月15日 女中くる
- 3月 8日 女中辞めると予告
- 3月15日 家政婦くる

といったぐあい、女中とか家政婦とか呼ばれる彼の身の雑事係は、まず1か月続けばいいほうであった。(中略)

これだけ人間を雇ったり追い出したりするのは、かなりに異常である。他人に対する愛情や尊敬、いたわりといったものは、どうやらベートーヴェンには全く欠如していたものようで、召使いたちはなにをしても気に入られず、絶えずバカだと怒鳴られ、買い物の小銭をくすねたと疑われ、あげくの果てには、痲癩を起したベートーヴェンに背中に生卵をぶつけられる……これではだれでも逃げ出してしまおう。

この種の人間が、「人類みな兄弟、手を取り合って歓喜のもとに集おう」といつてあの壮大なシンフォニーを作曲するのである。この矛盾した存在、それがベートーヴェンそのものであった。

この本の冒頭には、「音楽意外史」という記事が置かれていて、これが書名に反映しているものようです。

石井さんは、現在、日本ならびに世界各国で教えられている「西洋音楽史」なる代物は、事実をありのままに正しく伝えていない、ドイツ人の仕業で、きわめてドイツ偏重の歪んだものになっている、これはなんとしても正さなくてはならない、という強い信念をお持ちのようです。その信念は、この記事の15年後に『反音楽史～さらばベートーヴェン～』(新潮社)として結実します。

(ドイツ人の作った音楽史の)最大の特徴は、ゲルマン意識を前に押し出し、積年の民族的な恨みの集積であるイタリア人とイタリアを歴史の上から抹殺しよう、あるいは軽視しようとする思想が強く働いていることである。そのため多くの「音楽史」は、音楽の主流でありイタリア人の専売特許であったオペラを記述の上から外すか、片隅に追いやってしまう。(中略)こうしてドイツ人たちが作り上げた人工の音楽観によれば、音楽の崇高さとは器楽ないしは絶対音楽の中にあり、その道に関しては、バッハ、ヘンデル、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスらが古今に卓越しているのだということになる。この虚像は以後約100年にわたって、ドイツ音楽優位の考え方をなにも知らぬ人たちに叩き込んだのであった。

この石井さんの主張に対しては、賛否両論が沸き上がってくることでしょう。さしずめ、第1回でご紹介した百田尚樹さんなどは、反対派の急先鋒ではないかと思われます。『至高の音楽』の「まえがき」の中で、百田さんは次のように述べています。

「私は18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパ音楽——とくにドイツ音楽こそ世界最高レベルの音楽だと確信しています。」

読者の皆様方はどのような意見をお持ちでしょうか。

元同志社大学文学部講師(音楽学) 鷗川 真

会議・セミナー・展示会・パーティ・同窓会 承ります

## 西脇ロイヤルホテル



兵庫県西脇市西脇 991 番地 〒677-0015  
TEL.0795-23-2000 FAX.0795-23-8604

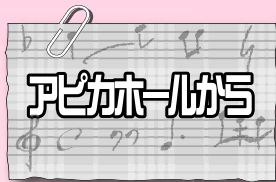
詳しくはオフィシャルホームページで >>> <http://www.nishiwaki-royalhotel.jp>

### レストラン・ラフィネ

- 【朝食】 7:00～10:00
- 【ランチ】 11:30～14:30 (L.O.14:00)
- 【ディナー】 17:30～21:30 (L.O.21:00)
- 【喫茶】 10:00～17:30

### 和食処・織乃里

- 【昼】 11:30～15:00 (L.O.14:00)
- 【夜】 17:30～ (L.O.21:00)



アピカホール20周年記念事業  
第24回「アピカ・フレッシュコンサート」

アピカ・フレッシュコンサートは、「地元出身」で、音楽系大学を卒業された方を対象に、これからの活躍を期待して開催します。

**4月17日(日)** 15時開演 (14時30分開場)  
一般 1,000円 (全席自由席)



いけだ みつる  
**池田 満** フルート  
(西脇市出身)  
「しほめる花」の  
主題による序奏と変奏  
(シューベルト)  
ピアノ：友枝 彩



かねしか あやね  
**金鹿 文音** ピアノ  
(三木市出身)  
アレグロ  
(グラナドス) 他



きくらく みき  
**菊楽 美紀** ピアノ  
(西脇市出身)  
ラ・ヴァルス  
(ラヴェル)



ながい  
**長井 りら** ピアノ  
(小野市出身)  
トッカータ 八短調BWV911  
(J.S バッハ)



**祝20周年!!**

聴く人と奏でる人とがともに“音楽”をつくりあげるコンサートホール

総合建設業 一級建築士事務所  
国土交通大臣認定鋼構造物製作工場  
あんしん住宅瑕疵保険届出事業者



WAIKI CONSTRUCTION CO.,LTD.  
**和以貴建設** 株式会社

☎677-0018 西脇市富田町36  
電話 0795-22-5651(代)

豊かなフィールドで釣りが  
できる喜びを大切に。



**株式会社オーナーぱり**  
本 社 / 〒677-0018 兵庫県西脇市富田町120  
TEL.0795-22-1433(代) : FAX.0795-22-6003



**オーダーシステムバスルーム**  
ユニットなのはサイズも内装材もバリエーションが豊富です。  
入浴の概念が変わります。

兵庫県西脇市高松町633-18  
株式会社 藤田幸三商店  
TEL(0795)23-5995(代)  
FAX(0795)23-6564

西脇市立音楽ホール「アピカホール」は、  
皆さまに支えていただきながら  
開館20周年を迎えることが出来ました。  
ありがとうございます。  
これからもご支援、  
ご協力をお願い申し上げます。

西脇市  
岡之山美術館  
TEL.0795-23-6223

## 「丸沼芸術の森コレクション」展 4月10日(日)~6月12日(日)

30年前に若手アーティストのアトリエ村としてその活動を開始した丸沼芸術の森は、優れた美術品コレクションでも広く知られます。本展では、そのアトリエを拠点とする若手芸術家から、ワイエスやベン・シャーンのパネル、印象派のさきがけとなったバルビゾン派のカミーユ・コロアの風景画に至るまで、世代やジャンルを超えた10作家の作品と共に、芸術文化による地域社会への貢献を目指す、丸沼芸術の森の取り組みをご紹介します。



横尾忠則デザイン「丸沼芸術の森コレクション」展ポスター

開館時間 午前10時~午後5時(入館午後4時30分まで)  
入館料 大人310円(260円)、高・大学生210円(160円)、  
小・中学生110円(80円)<ココロカード使用可>  
※( )内20名以上団体割引料金  
※障がい者割引有  
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)・祝日の翌日  
※ゴールデンウィーク中は開館

<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/okanoyama-museum/>  
ホームページにも掲載していますので是非ご覧ください。  
ブログ「美術館日記」もご訪問ください。

## ●アトリエ個展シリーズ

- VOL.1 ●大塚 温子 展  
4月12日(火)~5月 1日(日)
- VOL.2 ●大槻 和浩 展  
5月 2日(月)~5月22日(日)
- VOL.3 ●郡 佑見子 展  
5月24日(火)~6月12日(日)

※アトリエシリーズは無料

※各会期の最終日は展示替えの為、午後3時まで。

## 音楽の 話・輪・和・Wa

### 娘がアピカ 児童合唱団に 入って

増田 育美

友達に誘われて、昨年の5月にアピカ児童合唱団に入りました。音楽が好きですが、ピアノも習っていないため、私は皆さんについていけないか少し心配でした。初めて行くと、子どもたちが先生に音符の書き方や基本的なことを教えてもらっているところでした。そのあとみんなで歌を歌い、娘も少し参加させてもらいました。

帰りの車の中で、さっそくその日に習った歌を嬉しそうに歌っていたのでホッと安心しました。すぐに、夏の西脇子どもフェスティバルに向けての練習が始まり、6年生を中心に子どもたちが振り付けを自分たちで決めていました。提案のあった振り付けをみんなやってみて、「もっとこうしたらどう?」と先生の意見もいただきながら少しずつ完成していききました。普段はよく喋る娘ですが、大勢の前では恥ずかしくてなかなか自分の思いを言えないので、このような場で少しずつでも自分の思いを話せるようになってくれればいいなと思いました。

12月にはプラハ・バロック合奏団のコンサートに参加させてもらい、緊張しながらも頑張っている娘を見て、心の中で「がんばれ」と叫ばずにはいられません。舞台が終わると「緊張したー!!」晴れた表情の娘がいました。児童合唱でお世話になってもうすぐ1年が経ちますが、以前よりもさらに歌が好きになり、家でもよく歌っています。これから先生方、アピカの館長さんをはじめスタッフの皆さんに支えていただきながら、様々な経験を通して成長していかけてくれることを楽しみにしています。

(加東市在住)

## 編集後記

最近音楽をきいていますか?

「親子で楽しめる0歳からのコンサート」が2月初旬アピカホールでありました。子連れ大歓迎!のクラシックコンサートは、ママとパパも一緒に聴けて温かく楽しい取り組みでした。毎日の育児や家事におわれているママも多いと思いますが、時間をみつけて音楽のシャワーを浴びに子どもと一緒に出かけられた方もあるかもしれません。

アピカホールは1996年7月23日に完成し、今年で20周年を迎えます!これまで市外だけでなく県外に至るまで、たくさんの方々に来聴していただきました。また、ボランティアの皆様にも支えられながらきました。

私たちが皆様に愛されるホール情報誌『ボタタゴン』を目指してまいりますので、今後とも宜しくお願いします。(Green)

## 西脇市民会館

TEL.0795-22-5715

休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)

きて☆みて☆きいて!

## 第18回「あなたが主演フェスティバル」



開催日時

平成28年7月17日(日)

9:30~16:00

主催:(公財)西脇市文化・スポーツ振興財団

主管:市民企画委員会「O」(ゼロ)

アピカホール

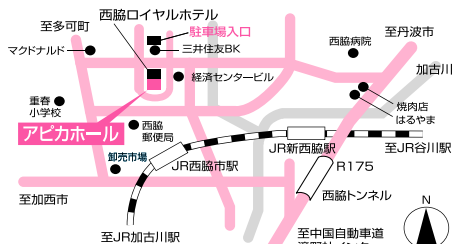
# 催しガイド

4月～7月

休館日：毎週水曜日(祝日の場合翌日)

月/日(曜日)	催物内容	時間	入場料等	主催・問合せ	特集記事
4/17(日)	開館20周年記念事業 第24回「アピカ・フレッシュコンサート」	15:00～ (14:30開場)	1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P8
5/8(日)	開館20周年記念事業 西脇市岡之山美術館協賛 ふるさと演奏家シリーズ 「村上成美の優美なる世界」～フルートとハープ 絵画の世界～	14:00～ (13:30開場)	一般2,000円 高校生以下1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	P5
5/28(土)	開館20周年記念事業 第133回 しばざくらコンサート 「歌がつむぐ」日本の地図～田代美代子ここに残したい日本の名曲～	14:00～ (13:30開場)	一般1,000円 高校生以下500円	アピカホール ☎0795-23-9000	P3
7/17(日)	きて☆みて☆きいて! 第18回「あなたが主役フェスティバル」	会場：西脇市民会館 9:30～16:00	大・中ホール 無料 その他 有料	市民企画委員会 <sup>協賛</sup> 西脇市民会館 ☎0795-22-5715	P11
7/23(土)	開館記念日コンサート 第134回 しばざくらコンサート 「桐五重奏団」	16:00～ (15:30開場)	一般3,000円 大人ペア5,000円 中学生以下1,000円	アピカホール ☎0795-23-9000	

★主催者の都合により変更になる場合があります。内容についてのご質問は、各主催者までお問い合わせください。



## 交通アクセス

<バス>中国ハイウェイバス西脇営業所行き  
「西脇」下車すぐ。

三ノ宮～西脇線(神姫)「西脇」下車すぐ。

<鉄道>JR古古川線「西脇駅」より徒歩約20分。

<車>中国自動車道 滝野社ICより国道175号線を北へ約15分。

※アピカホール主催の有料公演のみ、アピカ地下駐車場3時間無料サービスの手続きをします。

■編集：ポナンタゴン編集委員会  
■発行：西脇市立音楽ホール「アピカホール」  
ポナンタゴン：こんにちは  
(エスペ란anto語)

〒677-0015 兵庫県西脇市西脇991  
TEL(0795)23-9000 FAX(0795)23-9031  
<http://www.nishiwaki-cs.or.jp/apikahall/>  
E-mail: apikahall@ever.ocn.ne.jp

このガイドは2016年3月1日現在の資料を元に編集しており、内容は変更される場合があります。無断での転載を禁じます。

アピカホール ポナンタゴン 検索 ←ホームページでもご覧いただけます。